お茶会だより 4月

矢島保育園 H29.4.20(木)

4月、ぞう組になって今までの生活との大きな違いといえば 毎月行われる お茶会が その一つです。年長児ぞう組ならではの お茶会を心待ちに張り切って参加した第一回となりました。

年間を通して お茶会だよりにて子ども達の様子をお伝えしていきたいと思います。

お茶の先生 茶道裏千家淡交会 準教授

植田幸子 先生（茶名～**宗幸**（そうこう））

一年間、子ども達を指導して下さいます。

・床の間 ～ 色紙「にこにこ にっこり ごあいさつ」・花 ～ ボケ、ツバキ

・置き物 ～ 香合・おしどり ・お菓子 ～ じょうよまんじゅう（桜 焼印）

今年度から お茶会に お客様の募集をし、一緒に楽しんでいくことになりました。初回は矢島総合支所長様をはじめ、4名のお客様をお迎えしました。

お席拝見で植田先生のお話を聞き、緊張感たっぷりにお点前拝見。先生の一挙一動にかたずをのんで目を見張る子ども達の姿は まるで魔法を目の当たりにしたようでとても印象的でした。いつもは元気いっぱいの子ども達も茶席の特別な雰囲気を感じとり気が引き締まったようです。

先生と一緒に立ち振る舞い、作法を学びお茶を点てお運びをし、水屋役を初体験しましたよ。これから一年間 ほどよい緊張感をもち茶道に親しんでいきたいと思います。

水屋（みずや）お点前の準備や片付けをする場所。園ではお茶を点て運んだり下げたりする人を"水屋"と呼んでいます。

【今月の床の間】

【植田先生との初顔合わせ】

初めてのお茶のお稽古。一般のお客様として矢島総合支所長さん、元矢島保育園園長だった先生方、PTA 副会長さんも参加しました。

凛としたお点前の空気感に、子ども達の背筋も伸びていました。

【植田先生のお点前を拝見】

何をするのか、一挙一動に目は釘付けです。

【お稽古の様子】

お菓子を運んだり、互いにお茶を点てご馳走したり、初めてのお稽古は、全てが新鮮。お茶のお味も悪くないようです。